



## 2020年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年7月11日

上場会社名 株式会社ライフフーズ 上場取引所 東  
 コード番号 3065 URL http://www.meshiya.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大平毅  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 兼執行役員管理本部長 (氏名) 松本邦泰 (TEL) 06(6338)8331  
 四半期報告書提出予定日 2019年7月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年2月期第1四半期の業績 (2019年3月1日～2019年5月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第1四半期	3,400	3.0	73	37.3	87	36.6	48	37.0
2019年2月期第1四半期	3,300	0.8	53	△39.9	64	△39.2	35	△51.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第1四半期	15 95	—
2019年2月期第1四半期	11 65	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第1四半期	6,692	4,133	61.8
2019年2月期	6,492	4,117	63.4

(参考) 自己資本 2020年2月期第1四半期 4,133百万円 2019年2月期 4,117百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	0 00	—	10 00	10 00
2020年2月期	—	—	—	—	—
2020年2月期(予想)	—	0 00	—	10 00	10 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年2月期の業績予想 (2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,843	2.7	135	34.5	159	27.0	29	△23.6	9 73
通期	13,493	2.4	182	11.9	226	2.9	53	△24.6	17 62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期1Q	3,660,400株	2019年2月期	3,660,400株
② 期末自己株式数	2020年2月期1Q	599,679株	2019年2月期	599,679株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期1Q	3,060,721株	2019年2月期1Q	3,059,521株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、堅調な設備投資や企業収益に支えられ人手不足を背景にした雇用環境の改善が続き、緩やかな景気回復基調がみられる一方、英国のEU離脱問題や米中貿易摩擦の動向に対する懸念材料など景気下振れリスクが存在し先行不透明な状況にあります。

外食産業におきましては、個人の消費マインドに持ち直しの動きがみられるものの、原材料価格や採用関連コストの上昇など、厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社は一汁三菜をコンセプトに旬の素材を使った高品質とおいしさにこだわった定食業態「街かど屋」の新規出店を推進しております。並行して、できたてメニューにこだわったカフェテリア業態「ずめしや」等の既存店舗の強化と、店舗開発及び不採算店舗の撤退を進めております。

また、各業態期間限定メニューを導入し、「ずめしや」では大粒厳選のうすいえんどう豆ごはんやボロニアソーセージを使用した春彩りチャンプル等の販売、「街かど屋」では豚しゃぶ定食や大阪名物である肉吸いとかやくごはん定食等の販売、「めしや食堂」ではずめしやのメニューでもある惣菜各種に加え、牛すじねぎカレー等の月替わりカレーの販売、「讃岐製麺」では春限定の牛しゃぶ炙りぶっかけうどん等を販売しました。

当第1四半期累計期間の店舗展開につきましては、新規出店及び閉店は該当店舗がなく、店舗数は前事業年度末と同じ126店舗となっております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、既存店売上高の増加による影響で、売上高は3,400,109千円（前年同四半期比 3.0%増）、営業利益は73,554千円（前年同四半期比 37.3%増）、経常利益は87,884千円（前年同四半期比 36.6%増）、四半期純利益は48,809千円（前年同四半期比 37.0%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産の部)

流動資産は、現金及び預金の増加等により3,778,081千円（前事業年度末は3,567,053千円）となりました。主要因は、金融機関からの借入金の増加によるものであります。有形固定資産は、店舗設備の償却が進んだことで1,304,513千円（前事業年度末は1,311,521千円）、投資その他の資産は、繰延税金資産の増加等により1,517,493千円（前事業年度末は1,516,348千円）となり、資産の部合計は、6,692,414千円（前事業年度末は6,492,168千円）となりました。

## (負債の部)

流動負債は、賞与引当金の増加等により1,634,499千円（前事業年度末は1,471,470千円）となりました。固定負債は、長期借入金の増加等により924,026千円（前事業年度末は903,023千円）となり、負債の部合計は2,558,525千円（前事業年度末は2,374,494千円）となりました。

## (純資産の部)

純資産の部合計は、利益剰余金の増加等により4,133,888千円（前事業年度末は4,117,674千円）となりました。これにより、当第1四半期会計期間末の自己資本比率は61.8%（前事業年度末は63.4%）となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

「街かど屋」業態の新規出店と既存店売上高の回復を推進し、スクラップ&ビルドにより出・退店は新規出店8店舗、閉店2店舗で次期店舗数は132店舗を予定しております。

各業態「Q・S・C」（クオリティ・サービス・クレンリネス）レベルのさらなる向上を課題として、利益率を高め、資本効率を向上させるとともに、既存店の改装や新メニュー開発を促進して、お客様が要望される店舗作りに注力いたします。

次期の業績予想としましては、売上高は13,493,406千円（前年同期比2.4%増）、営業利益は182,784千円（前年同期比11.9%増）、経常利益は226,764千円（前年同期比2.9%増）、当期純利益は53,930千円（前年同期比24.6%減）を見込んでおります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2019年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,175,075	3,451,931
売掛金	9,477	11,205
商品	205	243
原材料及び貯蔵品	52,256	56,162
その他	330,039	258,538
流動資産合計	3,567,053	3,778,081
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,144,423	1,127,043
その他	167,097	177,469
有形固定資産合計	1,311,521	1,304,513
無形固定資産	97,244	92,325
投資その他の資産		
差入保証金	873,754	867,218
繰延税金資産	347,213	357,192
その他	295,891	293,592
貸倒引当金	△510	△510
投資その他の資産合計	1,516,348	1,517,493
固定資産合計	2,925,114	2,914,333
資産合計	6,492,168	6,692,414
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	367,886	405,888
1年内返済予定の長期借入金	104,754	117,917
未払法人税等	75,750	70,546
賞与引当金	105,704	158,638
その他	817,375	881,509
流動負債合計	1,471,470	1,634,499
固定負債		
長期借入金	63,497	120,815
長期預り保証金	85,961	63,993
退職給付引当金	490,413	497,584
役員退職慰労引当金	46,449	47,549
その他の引当金	669	420
その他	216,033	193,664
固定負債合計	903,023	924,026
負債合計	2,374,494	2,558,525

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2019年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,838,526	1,838,526
資本剰余金	1,537,526	1,537,526
利益剰余金	896,845	913,059
自己株式	△155,223	△155,223
株主資本合計	4,117,674	4,133,888
純資産合計	4,117,674	4,133,888
負債純資産合計	6,492,168	6,692,414

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年3月1日 至2018年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)
売上高	3,300,759	3,400,109
売上原価	1,082,049	1,102,206
売上総利益	2,218,710	2,297,902
販売費及び一般管理費	2,165,131	2,224,348
営業利益	53,579	73,554
営業外収益		
受取利息	654	544
受取家賃	42,044	27,795
その他	10,744	14,825
営業外収益合計	53,442	43,164
営業外費用		
支払利息	764	625
賃貸収入原価	40,209	25,873
その他	1,714	2,336
営業外費用合計	42,689	28,834
経常利益	64,332	87,884
特別損失		
有形固定資産除却損	0	1,854
特別損失合計	0	1,854
税引前四半期純利益	64,332	86,030
法人税等	28,702	37,220
四半期純利益	35,630	48,809

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。